



一般社団法人日本語まなびサポート北陸
2024 年度 事業報告
(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

1 概況

一般社団法人日本語まなびサポート北陸（以下、まなサポと略記）は、2023 年 10 月 10 日に設立した。主な事業は以下の通りである。

- 1 外国につながる子どもたちへの日本語や学習支援及び進路選択の助言
- 2 日本語教師への支援
- 3 日本語教育に関する相談
- 4 日本語教育に関する政策提案や関連諸団体との連携促進
- 5 日本語教育に関する調査研究及び教材等の開発
- 6 国際交流のための活動
- 7 その他当法人の目的を達成するために必要な事業

まなサポ設立後の 2023 年 10 月から 2024 年 3 月までが設立 1 期目、そして本報告は 2024 年 4 月から 2025 年 3 月までの、2 期目の内容である。外国につながる子どもたちへの日本語や学習支援等の活動、そして進路選択に関する活動を行った。また日本語教育の制度が大きく変わる時期でもあり、日本語教師への支援活動も重視した。

2 で、各取り組みについて、詳細を説明する。

2 事業の実施についての報告

2-1 外国につながる子どもたちへの日本語や学習の支援活動

2-1-1 子どもスタディサポート

2024 年度の子どもスタディサポート事業は、当法人の前身の「金沢子どもスタディサポート」活動を継続した形で行なっている。2009 年からの活動開始以来、15 年が経過している。以下に 2024 年度の実績を述べる。

実施回数：50 回

参加児童生徒：340 人（延べ人数）（実人数 15 人）

参加サポーター（大人と学生）：327 人（延べ人数）（実人数 大人 15 人、学生 9 人）

参加児童生徒の国籍：中国、ネパール、台湾、ベトナム、インドネシア、ミャンマー、
フィリピンなど

参加児童生徒の所属：小学校、中学校、高等学校

実施方法：対面および zoom

サポートの内容は、児童生徒の日本語や教科のレベルをチェックした上で、ニーズも聞き取り、学校からの宿題を一緒にすることで教科学習の支援をすることが多かった。その他、進路によっては、日本語能力試験に合格していることが重要になる場合もあり、N3やN2の試験問題をサポートすることもあった。また大学受験を目指す高校生に対しては、大学入学共通テストの過去問を解説することも行なった。

2024年度は、外国人児童生徒を対象とした高校の特別入学制度を利用して受検する生徒への学習支援も行なった。来日後、それほど学習時間がないまま高校入学を目指す生徒などに、日本語支援を行う他機関と連携しながら、基礎的な教科学習や面接や作文への取り組み方をサポートした。

課題は、主に2つある。1つは、教科学習の支援をするためのサポーターの不足である。さまざまな子どものケースで依頼を受けることが多くなっているため、これからも説明会を実施したり、イベントの際に案内したりするなど、充実させていきたい。

もう1つは、スタディサポートの効率的な運営である。まなサポでは、サポーターと児童生徒の組み合わせを必ずしも固定しないが、そのためにサポーターと児童生徒の学習したいこととのマッチングに困難が生じることがある。確実な連絡方法などを、新しいテクノロジーも使いながら模索していく必要がある。

2-1-2 外国につながる児童生徒への進路選択支援プロジェクト

2024年度は、麒麟福祉財団の「麒麟・地域の力応援事業」に「外国につながる子どもの進路選択と社会参加を支援する活動」が採択され、助成金を得ることができた。外国につながる児童生徒への進路選択支援の活動を行った。以下に示す。

- (1) 外国につながる子どもの進路選択についての調査：すでに進学や就職をしている、過去に子どもスタディサポートを受けた児童生徒に聞き取り調査などを実施した。
- (2) 進路選択に関する講演会の実施：2024年8月11日（日）午後1時～2時半に、講師として金沢大学融合学域融合科学系助教の高沼理恵氏に依頼し、講演「外国ルーツの子供達に対する日本でのキャリアの支援方法」をオンラインで実施した。45人程度の参加があった。
- (3) 進路ガイダンスの実施：専門家の講演や外国人児童生徒への聞き取り調査の結果をもとに、進路ガイダンスを実施した。2024年9月8日（日）午後1時～3時半まで、日本語教育を専攻する大学生や大学院生、また外国につながる「先輩」学生にも協力を依頼して、対面とオンラインのハイフレックスで実施した。国内外から22人の参加者があった。
- (4) 『外国につながる生徒のための進路案内』の作成：進路ガイダンスで扱った内容をもとにハンドブックを作成した。日本語と英語のバイリンガルで作成し、県内の外国につながる児童生徒や指導・支援にあたっている団体や個人に配布した。

2-2 日本語教師への支援

本年度は、2回の講演会と、2回のまなび広場を開催した。以下に詳細を記す。

- (1) まなび広場「登録日本語教員資格取得のための情報交換会」：2024 年 6 月 23 日（日）に対面（近江町交流プラザ研修室）でまなサポの深澤のぞみ、札野寛子、笹原幸子が講師となり実施した。
- (2) 講演会「外国ルーツの子供達に対する日本でのキャリアの支援方法」：上記とも説明が重複するが、2024 年 8 月 11 日（日）午後 1 時～2 時半に、金沢大学融合学域融合科学系助教の高沼理恵氏に依頼してオンラインで実施した。
- (3) 講演会「文型中心の日本語教育から課題遂行型の日本語教育への転換ーいま、日本語教師が理解しておくべきことー」：2025 年 2 月 8 日午前 10 時～11 時半に、日本語教育専門家で元国際交流基金日本語国際センター専任講師の来嶋洋美氏に依頼してオンラインで実施した。
- (4) まなび広場「これからの日本語指導って どうすればいいの？ 一緒に考えてみよう！ーCan-do の取り入れ方ー」：2025 年 3 月 20 日（木・祝日）午後 2 時～4 時に、対面（近江町交流プラザ集会室）で、まなサポの深澤のぞみ、札野寛子、笹原幸子が講師となり実施した。

2-3 日本語教育に関する相談や関連諸団体との連携促進

地域での日本語教育に携わるボランティアから、活動方法についての問い合わせや、関連団体から活動の協力依頼、また人材を紹介してほしいなどの依頼などがあった。

特に、今後は、小中学校はもとより、高校などでも、外国人児童生徒への日本語と教科の学習支援ができる人材は県内でもあまり多くはない現状があるので、情報収集や連携強化に努めていきたい。

2-4 WEB サイト及び Facebook、ニュースレター発行などの広報活動

2-4-1 WEB サイトなど

まなサポでは、WEB サイト（<https://nihongomanasapo.wixsite.com/manasapo>）と Facebook（<https://www.facebook.com/profile.php?id=61557407875172>）を広報に使用している。また会員向けにニュースレターを不定期に発行している。

WEB サイトでは、まなサポに関する一般的な情報とイベント告知、入会案内、相談窓口などから成っており、入会希望者や相談の受付などが、この WEB サイトを通して行われている。

イベントの告知やイベント報告は、Facebook も使用している。またまなサポやまなサポのメンバー関わった行事や報道などを掲載し、PR の一環として使用している。

2-4-2 ニュースレター

ニュースレターについては、2024 年度 5 月 21 日付け第 1 号から、2025 年 2 月 17 日付け第 8 号までを会員に向けてメール発信した。

各号での主な話題は以下のとおりである。

- 第1号：麒麟福祉財団の令和6年度「麒麟・地域のちから応援事業助成金」採択や、研修会「まなび広場」第1回―登録日本語教員資格取得のための情報交換会―開催案内
- 第2号：外国につながる子どもの支援者のためのキャリア支援講演会開催、日本語教員試験 試験案内公表について。また（公財）石川県国際交流協会の講演会などの情報
- 第3号：日本語教員試験出願手続き等や「金沢大学の学生と考える進路ガイダンス」の案内
- 第4号：「能登の外国ルーツの子どもたちへの寄付金」ミニプロジェクトなど
- 第5号：「外国につながる高校生のための進路ガイダンス」の開催報告や、能登の外国ルーツの子どもたちへの寄付金ミニプロジェクト進捗状況報告
- 第6号：第2回「講演会」および第3回「まなび広場」開催の予告、日本語教育学会「キャリアパスフォーラム」の案内など
- 第7号：まなサポ研修会第2回「講演会」参加登録期限延長のお知らせと、第3回「まなび広場」の案内など
- 第8号：まなサポ研修会第2回「講演会」の開催報告、まなサポ研修会第3回「まなび広場」の案内、『外国につながる生徒のための進路案内』冊子体の完成報告、令和7年度日本語教員試験の試験日の情報など

2-5 その他

まなサポの活動にかかる経費は、これまでの会員からの会費、寄付金、そして助成金を得ることで賄っている。2024年度は、2-1-2にも述べたように、麒麟福祉財団の「麒麟・地域の力応援事業」に「外国につながる子どもの進路選択と社会参加を支援する活動」が採択され、助成金を得ることができた。

2025年度の助成金として、2024年度世界の人びとのためのJICA基金活用事業の募集に応募し、8月末に採択が決定した。事業開始に向けて準備を開始し、2025年度4月から事業を開始することができている。

3 事業の実施体制についての報告

3-1 2024年度第1回定時社員総会

2024年6月23日（日）13時10分～14時

近江町交流プラザ研修室1にて、対面での開催

3-2 定例役員会（いずれもオンライン開催）

- 1) 2024年4月5日（金）午前
- 2) 2024年5月17日（金）午前
- 3) 2024年6月14日（金）午前
- 4) 2024年7月12日（金）午前
- 5) 2024年8月9日（金）午前
- 6) 2024年9月6日（金）午前
- 7) 2024年10月4日（金）午前

- 8) 2024 年 11 月 8 日 (金) 午前
- 9) 2024 年 12 月 6 日 (金) 午前
- 10) 2025 年 1 月 10 日 (金) 午前
- 11) 2025 年 2 月 7 日 (金) 午前
- 12) 2025 年 3 月 7 日 (金) 午前

以上。